

# ハマタイトシーリング材性状一覧表 (2成分形)

シーリング材の種類		シリコン系			シリル化アクリレート系			変成シリコン系			ポリサルファイド系			ポリサルファイド系			ポリウレタン系				
製品名		<b>SC-SR2</b>			<b>SC-SA2 / EVOMAX</b>			<b>SC-MS2NB / SUPER II</b>			<b>SC-PS2</b>			<b>SC-DM2</b>			<b>SC-PU2NB</b>				
JIS A5758による区分		G・F-25LM-10030 (SR-2)			G・F-25LM-10030 (SA-2) 申請中			F-25LM-9030 (MS-2)			F-25LM-8020(PS-2)			-			F-25LM-8020(PU-2)				
外観	基剤	ペースト状			ペースト状			ペースト状			ペースト状			ペースト状			淡黄色透明液状				
	硬化剤	ペースト状			ペースト状			ペースト状			ペースト状			ペースト状			ペースト状				
混合比		100:3.4:4.9			100:10:3.3			100:10:3.7			100:17.9:4.0			100:20:4.0			100:450				
JIS A5758に準じた試験	スランプ(mm)	縦	5°C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			50°C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	スランプ(mm)	横	5°C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			50°C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	弾性復元性(%)		93			92			90			90			-			90			
	被着体		アルミニウム(ガラス★)			アルミニウム(ガラス★)			アルミニウム			アルミニウム			-			アルミニウム			
	引張応力(N/mm <sup>2</sup> )	23°C	0.2			0.2			0.3			0.3			-			0.2			
			-20°C			0.2			0.3			0.4			-			0.3			
	定伸長下での接着性	23°C	NF			NF			NF			NF			-			NF			
			-20°C			NF			NF			NF			-			NF			
圧縮加熱・引張冷却後の接着性		NF			NF			NF			NF			-			NF				
人工光曝露後の接着性		NF★			NF★			-			-			-			-				
水浸漬後の定伸長下での接着性		NF			NF			NF			NF			-			NF				
体積損失(%)		3.0			2.2			3.5			4.5			3.5			4.1				
耐久性区分		10030			10030(申請中)			9030			8020			-			8020				
参考となる性状	有効期間(月)		6			6			6			6			6			6			
	押し出し性(秒)	5°C	7			5			4			4			2			3			
			23°C			6			3			3			1			2			
	可使用時間(時間)	仕様	通年			低温度	中温度	高温度	低温度	中温度	高温度	低温度	中温度	高温度	通年			低温度	中温度	高温度	
			5°C	6			6	-	-	6	-	-	4	-	-	2.5			5	-	-
			23°C	3			3	5	8	2	5	10	2	3	4	2			3	5	6
			35°C	2			-	-	3	-	-	3	-	-	2	1.5			-	-	3
指触乾燥時間(23°C・時間)		24以内			4以内	10以内	20以内	4以内	10以内	24以内	18以内	18以内	24以内	6以内			4以内	10以内	15以内		
密度(g/mL)		1.2			1.3			1.1			1.2			1.2			1.0				
H型引張接着性	被着体	条件	応力・伸び		50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大荷重時の伸び(%)	50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大荷重時の伸び(%)	50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大荷重時の伸び(%)	50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大荷重時の伸び(%)	50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大荷重時の伸び(%)		
			アルミニウム	養生後 23°C	0.12	0.88	1100	0.08	0.48	570	0.18	0.51	700	0.24	0.99	750	0.53	1.10	550	0.19	0.50
	アルミニウム	加熱後 23°C	0.12	0.98	1100	0.10	0.56	590	0.19	0.50	600	0.26	1.03	650	0.54	1.12	500	0.17	0.53	480	
		水浸漬後 23°C	0.11	0.78	1200	0.10	0.43	570	0.17	0.46	650	0.24	0.91	750	0.51	1.20	530	0.18	0.46	650	
		モルタル	養生後 23°C	0.11	0.69	1000	0.08	0.48	590	0.18	0.52	700	0.23	0.72	550	0.52	1.10	510	0.19	0.50	510
	モルタル	加熱後 23°C	0.11	0.78	1000	0.10	0.63	600	0.20	0.52	600	0.25	0.81	530	0.55	1.20	490	0.18	0.50	490	
		水浸漬後 23°C	0.10	0.69	1100	0.11	0.43	580	0.17	0.45	700	0.23	0.81	550	0.48	0.95	520	0.19	0.45	530	
		ガラス	養生後 23°C	0.12	0.88	1100	0.08	0.46	570	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガラス	加熱後 23°C	0.12	0.98	1100	0.10	0.61	600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水浸漬後 23°C	0.11	0.78	1200	0.10	0.45	590	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
促進曝露後 23°C		0.12	0.78	1100	0.13	0.42	510	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
その他	ホルムアルデヒド放散等級		(基剤・硬化剤・カラー)JSIA F☆☆☆☆			(基剤・硬化剤・カラー)JSIA F☆☆☆☆			(基剤・硬化剤・カラー)JSIA F☆☆☆☆			(基剤・硬化剤・カラー)JSIA F☆☆☆☆			(基剤・硬化剤・カラー)JSIA F☆☆☆☆			(基剤・硬化剤)JSIA F☆☆☆☆			
	備考		●防火戸用指定シーリング材についてはP22を参照ください			●シーリング材の厚みが薄い場合、薄層未硬化現象を起こすことがあります			●ノンブリードタイプ ●シーリング材の厚みが薄い場合、薄層未硬化現象を起こすことがあります			●シリコン系シーリング材の近くでは同時施工しないでください。 ●硬化剤は十分に絞りだして使用ください。			●シリコン系シーリング材の近くでは同時施工しないでください。 ●硬化剤は十分に絞りだして使用ください。			●ノンブリードタイプ ●シリコン系シーリング材の近くでは同時施工しないでください。 ●硬化剤は十分に絞りだして使用ください。			
	旧品番(従来品番)		<b>シリコン70</b>			-			<b>スーパーII スーパーII(NB)</b>			<b>(SC500NB)</b>			-			<b>UH-01NB</b>			

※1 質量比です。SC-PU2NBにおいては基剤：硬化剤を示します。

★人工光曝露後の接着性は被着体にガラスを使用しています。

試験結果の「-」は、試験項目外を示し、「NF」は「破壊なし」を示しています。

H型引張接着性試験は、JIS A1439に準じて実施しています。

「加熱後」の加熱温度は耐久性試験の圧縮加熱温度で、耐久性区分の記載がないものは80°Cです。

結果は代表値を記載しています。